



平成23年度下諏訪向陽高等学校卒業式



卒業を迎えて～30期生より～

- ①進学先は？
- ②高校生活を振り返って
- ③勉強の他に高校生活で印象に残っているのは
- ④将来に向けてどんなことをしていきたいか
- ⑤中学生へ向けて一言



3-6 藤森和博 くん

- ①県内の4年制大学・工学系。
- ②勉強・部活をはじめ、さまざまな個性を持った友人たちから多くのことを学んだ。向陽で過ごした時間はとても有意義だったと思う。
- ③ボウリングで2011年の山口国体に出場したこと。入学して間もないころ、友達とボウリングに行ったらたまたま隣にいた選手団にスカウトされた(笑) アベレージ140くらいだったが、今では300を二回とったことがある。
- ④色々な人と交流していきたい。将来の夢がゲームクリエイターなので、ゲームを通して何を伝えられるか追及していきたい。
- ⑤人に誇れるものを見つけてほしい。向陽は勉強だけでなく自分のやりたいことに専念できる学校だと思う。



3-2 小松紗姫 さん

- ①県内の4年制大学・看護系。
- ②一生懸命勉強に取り組み、充実した3年間だった。
- ③部活動。1年生の北信越大会出場、マラソン大会三連覇(史上初)など、さまざまな思い出がある。向陽では長距離の女子選手が私一人だけだったので、男子と練習していたことが好成績につながったと思う。
- ④将来、発展途上国での看護に携わりたいので、正しい知識を持った看護師になるため勉強していきたい。患者の心がわかるような看護師になりたい。
- ⑤やはり基本は勉強だと思う。また、時間を守る、授業をしっかり受けるなど、当たり前のことをきちんとやるのが、将来の選択肢を広げ、夢の実現につながる。向陽は、生徒の頑張りに先生が応えてくれる学校。ぜひ向陽へ！



3-5 澁井勇哉 くん

- ①関東の4年制大学・観光系。
- ②高校は宿題がなかったので、必要だと思う勉強をコツコツ続け、不明な点はわかるまで先生に質問した。そのことが夢の実現につながったと思う。
- ③向陽祭ステージバック係長を務めたが、中学と異なり、自分が考えて動かなければいけなかった。一生懸命やったことを周囲に評価してもらえたのがとても嬉しかった。
- ④日本の経済を立て直すためには観光が不可欠だと思うので、多くの人に喜んでもらえるツアーを計画したい。そのための勉強をできればと思う。
- ⑤高校生は「自己責任」が求められるので、しっかりと自己を確立してほしい。また、向陽は先生方がしっかり面倒を見てくれる学校だと思う。

向陽、快進撃！～部活動の記録～

1月21・22日に上田で行われた平成23年度長野県高等学校新人体育大会で、本校女子バレー部が準優勝を果たしました。準々決勝では東海大三高校を2-0で破り、続く準決勝では松商学園を2-1で破って昨年のリベンジ。決勝の都市大塩尻戦は善戦虚しく敗れてしまいましたが、堂々の準優勝です。2月10～12日に福井県で行われた北信越大会では、2回戦で石川県の遊学館高校に敗れてベスト16という結果でした。以前から熱心に練習していた女子バレー部、その成果が結果となって表れてきたと思います。次こそは都市大塩尻高校を倒して長野県の頂点に立ってくれるでしょう。



また、3月23～25日に静岡県浜松市で行われる全国高等学校選抜ボート大会の壮行会が、卒業式前日の3月2日に行われました。女子ダブルスカルで北信越大会で5位入賞を果たし、全国選抜への切符を手にしたのは本校1年の石上璃奈さんと関悠香さん。石上さんは「向陽の代表として精一杯頑張ります」と力強く語ってくれました。高校からボートをはじめ、わずか1年足らずで全国大会出場を果たした二人。急成長を続ける二人は、一気に全国の頂点へと駆け上がる可能性を秘めています。

